

2010/10/29

TWES hongo

協働スタジオプログラム5 「贅沢な時間と空間」ドキュメント展

On Site Lab Workshop - Series 5 "Luxurious Time and Space"

Creative Dialogue and Commitment to the Environment

2010/10/30 土 - 11/21 日 トーキョーワンダーサイト本郷



企画概要

クリエイターが社会の課題へ取り組むことの重要性を認識し、ジャンルや国籍の異なるクリエイターと協働して課題に挑む可能性を探ることを目的に、トーキョーワンダーサイトが2006年度から始めたワークショッププログラム「協働スタジオプログラム」。「アートと環境との対話」を主題に、国内外の第一線で活躍するチューターを招聘し、クリエイターがグループワークやレクチャーを通して交流しながらリサーチ、制作を行い「協働による知の地平」を開くことを試みます。過去4回のテーマは、「+hand」「水辺の環境」「地球温暖化と緑化」「ゴミ」を課題としてきました。

本年度は、GTS(藝大・台東・墨田)観光アートプロジェクト、ロンドン芸術大学と連携し、「贅沢な時間と空間」をテーマに取り組みます。今、文化、経済、環境などあらゆる分野で総合的、長期的な視野のもと新しい価値を見出すことが急務です。江戸時代の中心地であり、現在は2011年のスカイツリー完成に向けて熱い注目を集めている隅田川両岸地域の台東区、墨田区のリサーチを通して、地球と人にとっての豊かさを考えます。Part 1として8月に、レクチャーやグループワークなどのワークショップを行い、Part 2はGTS内、国際アートプロジェクト企画展において制作発表、そしてトーキョーワンダーサイト本郷におけるドキュメント展を行います。

開催概要

- 会期 2010年10月30日(土)～2010年11月21日(日)
- 会場 トーキョーワンダーサイト本郷
- 開館時間 11:00～19:00(最終入場は30分前まで)
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
- 入場料 無料
- イベント
 - 2010年11月16日(火) 19:00～21:00 レクチャー 「贅沢な時間と空間：水辺空間からの提言」
[講師]陣内秀信(法政大学デザイン工学部教授)
 - 2010年11月18日(木) 19:00～21:00 トークショー 「協働の可能性」
[出演]大巻伸嗣(東京藝術大学美術学部彫刻科講師)、ウィット・ピンカンチャナボン(アーティスト)、家村佳代子(トーキョーワンダーサイト事業課長)
- 主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト
- 共催 GTS(藝大・台東・墨田)観光アートプロジェクト
- 協力 東京藝術大学、ロンドン芸術大学、国際交流基金「JENESYS Programme: 東アジアクリエイター招へいプログラム」
- 関連企画 GTS(藝大・台東・墨田)観光アートプロジェクト内 墨田公園リバーサイトギャラリー「隅田川 Art Bridge 2010」
11月2日(火)～11月14日(日)

会場案内

トーキョーワンダーサイト本郷

〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-16

TEL: 03-5689-5331

FAX: 03-5689-7501

URL: <http://www.tokyo-ws.org>

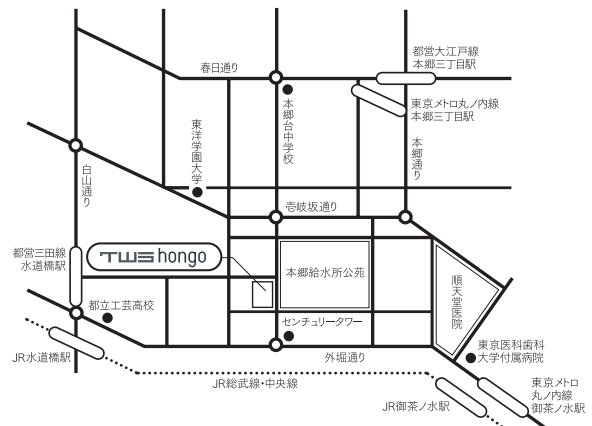
■交通案内：御茶ノ水駅・水道橋駅(JR総武線)、

水道橋駅(都営地下鉄三田線)、

御茶ノ水駅・本郷三丁目駅(東京メトロ丸ノ内線)、

本郷三丁目駅(都営地下鉄大江戸線)各駅より徒歩7分

駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮下さい。





レクチャー講師紹介

陣内秀信 | Hidenobu Jinai

1947年福岡県生まれ
東京大学大学院工学系研究科修士・工学博士
イタリア政府給費留学生としてヴェネツィア建築大学に
留学、ユネスコのローマ・センターで研修。
法政大学デザイン工学部教授
パレルモ大学、トレント大学、ローマ大学にて契約教授
専門はイタリア建築史・都市史。

著書：『東京の空間人類学』（筑摩書房）、『ヴェネツィア - 水上の迷宮都市』（講談社）、『シチリアー（南）の再発見』（淡文社）、『南イタリア都市の居住空間』（編著、中央公論美術出版）、『地中海世界の都市と住居』（山川出版社）、『イタリア 小さなまちの底力』（講談社）、『イタリア海洋都市の精神』（講談社）他

受賞歴：サントリー学芸賞、建築史学会賞、地中海学会賞、イタリア共和国功労勲章（ウッフイチャーレ章）、日本建築学会賞、パルマ「水の書物」国際賞ローマ大学名誉学士号、サルデーニャ建築賞2008

大巻伸嗣 | Shinji Ohmaki

東京藝術大学美術学部彫刻科講師
1971年生まれ。1995年東京藝術大学美術学部彫刻科にて学士号を取得。1997年東京藝術大学院美術研究科彫刻専攻を修了。2009年秋より、同大学美術学部彫刻科講師。展示空間を非日常的な世界に生まれ変わらせ、鑑賞者の身体的な感覚を呼び覚ますダイナミックなインスタレーション作品を国内外のギャラリー、美術館、公共施設、オフィスビルなどで発表。東京都主催の公募展「トーキョーワンダーウォール」(2000年)入選。2007年以來「ごみとは何か」という問いかけを起点に「Garbage Project」に取り組んできた。2009年8月から11月までTWS渋谷にて個展「絶・景—真空のゆらぎ」を開催し、約1年のリサーチに基づいた新作を発表した。その後も、「花・風景」展（熊本現代美術館）、アジアパシフィックトリエンナーレ（2009）（オーストラリア・ブリスベン）、瀬戸内国際芸術祭2010、「こどものにわ」（東京都現代美術館）など参加展覧会多数。

ウィット・ピンカンチャナポン | Wit Pimkanchanapong

1976年タイ生まれ。タイ、バンコク在住。チュラーロンコーン大学（タイ）にて建築を専攻。ケント・インスティテュート・オブ・アート&デザインにてヴィジュアルコミュニケーション修士課程修了。主な展覧会にHave we met?（国際交流基金、東京、2004）、SOI Project、（横浜トリエンナーレ、2005）、シンガポールビエンナーレ（2008）、APT7（アジアパシフィックトリエンナーレ、ブリスベン、2009）他、イギリス、香港、北米等多数。また、ソイプロジェクトの主要メンバーとしても活躍*。

*ソイプロジェクト(タイ)

2005年横浜トリエンナーレに際して、新たに作られたプロジェクト・グループ。SOIとは、タイ語で「路地」を指す。バンコク市内のSOIの一角に集まるアーティスト達が、多ジャンルにまたがって活動している状況を取り上げる。メンバーは、映像作家のウィット・ピムカンチャナポン（1976年タイ生、バンコク在住）を中心とし、アニメーション作家・ミュージシャンのウィスット・ボンニビット（1976年タイ生、神戸市在住）、造形作家のアングリット・アッチャリヤソーボン（1976年タイ生、チェンライ在住）、ピナリー・サンピタック（1961年タイ生、バンコク在住）、そして元コマメディアで作家のノート＝ウドム・テーバーニット（1968年タイ生、バンコク在住）ら若手アーティスト達で構成される。日本や欧米の文化に影響を受けながら、音楽やアートを介してつながり合い、独自の表現活動を行う、現在のバンコク・アートシーンを視覚化する。

ワークショップ参加者

講師

大巻伸嗣（東京藝術大学美術学部彫刻科講師）
ウィット・ピンカンチャナポン（アーティスト）
クリス・ウェンライト（ロンドン芸術大学キャンパーウェル、チェルシー、ウィンブルドンカレッジ学長）
今村有策（トーキョーワンダーサイト館長）
家村佳代子（トーキョーワンダーサイト事業課長）

東京藝術大学

太田祐司、カン・ニー、蔭山忠臣、林 千歩、角田 優、二藤建人、高田陽三、鈴木悟（東京藝術大学美術学部彫刻科教育研究助手）

ロンドン芸術大学

ケイト・シールズ、デジー・ソウル、サミュエル・フォード、オルトス・ル・ラルヴェ

TWS 青山：クリエイター・イン・レジデンス滞在作家

亀井佑子、mamoru、下道基行、田村友一郎、ウィル・フレンチ、ウィン・イー・イラ、クワイ・サムナン、グエン・アイントゥアン

一般参加

小畑多丘（アーティスト）、ネダ・フィルフォヴァ（アーティスト）、クラウディア・ラルヒャー（アーティスト）、オーストリア文化省スタジオグラント2010参加）